

教職課程を履修し、教師を目指す学生諸君へ

京都産業大学は、昭和40年に経済学部、理学部の2学部で開設されて以来、今日では10学部15,000名程の学生を有する総合大学として発展してきました。その建学の精神は、「高い人格をもち、人倫の道をふみはずすことなく、社会的義務を立派に果たし得る人をつくることであり、しかもその職域が国内であろうと海外であろうと、その如何を問わず、全世界の人々から尊敬される日本人として、全人類の平和と幸福のために寄与する精神をもった人間を育成すること」です。

この本学の建学の精神は、教育基本法の趣旨の体现を図るとともに今日の教員養成の基本的方向づけを行ったとされる教育職員養成審議会の第一次答申で謳われた「今後特に教員に求められる具体的資質能力」の内、地球的視野に立って行動するための資質能力である「地球、国家、人間等に関する適切な理解」、「豊かな人間性」、「国際社会で必要とされる基本的資質能力」に合致するものです。このような建学の精神と教員養成の基本理念に対する理解の下、本学の教職課程教育センターは、次代を担う子どもたちの育成に真に寄与できる教員の養成を目指して努力しています。

グローバル化や情報化の進展に伴い様々な価値観が存在する今日の中で、優れた教員養成に対する社会的要請はかつてないほど高まっています。教師になるということは、所定の単位を修得し、試験対策を重ね、採用試験に合格することでは決してありません。このような考え方では、「学力低下」、「不登校」、「いじめ」など学校教育をめぐる様々な課題に適切に対応することはできません。教員免許状を取得し、公立学校であれ私立学校であれ、採用試験に合格することは、教職という長い道のりのゴールではなく、スタートラインにつくことに過ぎません。

昭和42年に本学に教職課程が設置されて以来、これまでに延べ1,900人を超える卒業生がこのスタートラインにつき、全国各地の小・中・高等学校などで情熱を持って教育活動を行ってきました。中には、校長・教頭・指導主事など、それぞれの地域において指導的立場で活躍している先輩諸氏も数多くいます。

教職の道は、決して平易ではありませんが、皆さんが費やす時間と労力、そして汗と涙に十分値する職業と言えるでしょう。古都京都の美しい自然と学生の活気が溢れる本学の神山キャンパスで、一人でも多くの学生が、教職に対する自覚と熱意を持って教職課程を履修し、仲間と切磋琢磨しながら自己研鑽に努め、優れた先輩の後に続くことを心から期待しています。

Content ◆教職課程◆

● 教職課程の履修について

| | |
|-----------------------|----|
| 1. 履修における心構え | 2 |
| 2. 取得できる免許状の種類・教科について | 2 |
| 3. 教職課程履修に係る登録・辞退について | 3 |
| 4. 教職課程教育センターについて | 3 |
| 5. 問い合わせ先・問い合わせ時の注意事項 | 3 |
| 6. 教職課程履修の流れ | 4 |
| 7. 教職課程履修カルテについて | 5 |
| 8. 教職実践演習について | 6 |
| 9. 介護等体験について | 7 |
| 10. 教育実習について | 9 |
| 11. 麻疹（はしか）の抗体確認について | 12 |
| 12. 時間割の組み方 | 13 |
| 13. 教員免許状申請について | 14 |

● 教職課程

| | |
|--------|----|
| 経済学部 | 15 |
| 経営学部 | 27 |
| 法学部 | 35 |
| 現代社会学部 | 47 |
| 外国語学部 | 57 |
| 文化学部 | 71 |
| 理学部 | 81 |
| 生命科学部 | 93 |

● 2024年度授業科目一覧表

| | |
|-------------------------|-----|
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | 107 |
| 教育の基礎的理解に関する科目等・各教科の指導法 | 109 |
| 教科に関する専門的事項 | |
| 経済学部 | 111 |
| 経営学部 | 113 |
| 法学部 | 114 |
| 現代社会学部 | 115 |
| 外国語学部 | 117 |
| 文化学部 | 122 |
| 理学部 | 124 |
| 生命科学部 | 127 |
| 大学が独自に設定する科目 | 128 |

● 小学校教諭免許状の取得について

| | |
|-----------------|-----|
| 小学校教諭免許状の取得について | 129 |
|-----------------|-----|